

美浜町 町政功労表彰

11月3日に、永年にわたり町政の発展に貢献された方々の功績に対し、感謝と敬意を表する町政功労表彰式がなびあすで行われ、今年度は次の7人の方が表彰されました。(並びは五十音順)



〔教育功労〕 池本 敏子氏(河原市)

- ・美浜町婦人会 副会長 平成10年3月～平成11年3月(1年)
- ・美浜町婦人会 会長 平成11年3月～平成12年3月(1年)
- ・美浜町社会教育委員会 委員 平成11年4月～平成24年3月(13年)
- ・美浜町社会教育委員会 副委員長 平成13年3月～平成22年3月(9年)
- ・美浜町社会教育委員会 委員長 平成22年4月～平成24年3月(2年)
- ・美浜女性ネットワーク 会長 平成14年3月～平成16年3月(2年)
- ・美浜町社会福祉協議会 理事 平成16年9月～平成26年8月(10年)
- ・美浜町社会福祉協議会 副会長 平成19年5月～平成22年8月(3年)
- ・河原市区長 平成25年2月～平成26年1月(1年)



〔自治功労〕 北村 晋氏(早瀬)

- ・美浜町議会 議員 平成14年3月～平成26年3月(12年)
- ・美浜町議会 副議長 平成19年3月～平成20年3月(1年)
- ・美浜町議会 議長 平成22年3月～平成25年3月(3年)



〔自治功労〕 倉田 愛子氏(坂尻)

- ・美浜町議会 議員 平成14年3月～平成26年3月(12年)
- ・美浜町議会 副議長 平成21年3月～平成22年3月(1年)



〔自治功労〕 繁田 清幸氏(久々子)

- ・美浜町監査委員 平成14年4月1日～平成26年3月31日(12年)



〔自治功労〕 中村 清一氏(丹生)

- ・美浜町議会 議員 平成14年3月～平成26年3月(12年)
- ・美浜町議会 副議長 平成18年3月～平成19年3月(1年)
- ・美浜町議会 議長 平成20年3月～平成22年3月(2年)



〔自治功労〕 中村 春彦氏(金山)

- ・美浜町事務吏員 昭和39年12月1日～平成17年3月31日(40年4月)
- ・水道課長 平成9年4月1日～平成11年3月31日
- ・建設課長 平成11年4月1日～平成13年3月31日
- ・企画課長 平成13年4月1日～平成15年3月31日
- ・総務課長 平成15年4月1日～平成17年3月31日
- ・美浜町交通指導員 昭和53年4月1日～平成18年4月10日(28年)
- ・美浜町 副町長 平成19年4月10日～平成26年3月31日(6年11月)



〔自治功労〕 樋下 伸嗣氏(佐田)

- ・美浜町議会 議員 平成10年3月～平成26年3月(16年)
- ・美浜町議会 副議長 平成20年3月～平成21年3月(1年)

こころうたコンサート



11月8日に、みはまナビフェス2014において「ふるさと美浜こころうたコンサート」がなびあすで行われました。

このコンサートは、来年度の小学校再編によりこれまで歌い継がれてきた校歌が失われることに伴い、児童たちが母校の校歌を合唱し、地域の方々に学校生活やふるさとの情景を思い返してもらおうと企画されたものです。

児童たちは、さまざまな思いを巡らせながら、思い出のつまった校歌を心を込めて合唱していました。

また、当日は、ヒナタカコさん(シンガーソングライター)を迎え、ふるさとをテーマとしたコンサートが行われ、最後は、「僕たちの景色」美浜を描いてを児童と合唱し、会場は温かい雰囲気になっていました。



1 ヒナタカコさん(シンガーソングライター)
 2 美浜北小学校(平成27年度～美浜西小学校)
 3 美浜南小学校(平成27年度～美浜西小学校)
 4 弥美小学校(平成27年度～美浜中央小学校)
 5 新庄小学校(平成27年度～美浜中央小学校)
 6 丹生小学校(平成27年度～美浜東小学校)
 7 菅浜小学校(平成27年度～美浜東小学校)
 8 美浜東小学校(平成27年度～美浜東小学校)

Mihama Navi Fes 2014 Concert

読書感想文コンクール 入賞者発表



大同教育長から表彰を受ける千万 真慧さん(新庄小)

11月8日に、なびあすで美浜町読書感想文コンクールの表彰式が行われました。

今回のコンクールには、114作品の出品があり、次の方が入賞されました。(敬称略)

【最優秀賞】

部門	学校名等	氏名	作品名	図書名
1年生の部	美浜北小学校	志賀 瑠莉奈	うんでくれてありがとう	いのちは見えるよ
3年生の部	美浜北小学校	金谷 拓海	ものを大切にすること	むぎわらぼうし
4年生の部	新庄小学校	山口 智也	ウンチのふしぎから考えたこと	ちきゅうがウンチだらけにならないわけ
5年生の部	新庄小学校	千万 真慧	ほくも内海のように	エースの誇りと責任
6年生の部	新庄小学校	小林 歩夢	戦争の恐ろしさ	はなはなみんみ物語
中学生の部	美浜中学校3年	久保 かくや	絶対、絶対、あきらめない!	十二番目の天使
一般の部	美方高等学校2年	田辺 美妃	夢	下町口ケット



↑最優秀賞受賞者を代表して朗読する志賀 瑠莉奈さん(左:美浜北小)、小林 歩夢さん(中:新庄小)、久保 かくやさん(右:美浜中)

【優秀賞】

1年生の部	岩本 美由奈(菅浜小学校)	4年生の部	木谷 亮太(美浜北小学校)
2年生の部	金森 爽(弥美小学校)	5年生の部	宮下 妃海(美浜北小学校)
	橋田 望来(美浜東小学校)	中学生の部	石丸 ひかり(美浜中学校2年)
3年生の部	寺川 歎十(美浜北小学校)		織田 夏己(美浜中学校3年)
4年生の部	志賀 充真(美浜北小学校)	一般の部	寺崎 真里奈(敦賀高等学校1年)

【入選】

1年生の部	小西 玲人(丹生小学校)	6年生の部	蛭子 海凧(美浜北小学校)
	山口 奈菜(美浜北小学校)		鳥居 千鈴(美浜東小学校)
2年生の部	桶野 渡貴(菅浜小学校)	中学生の部	村寄 あゆみ(美浜中学校1年)
	久保 寛人(新庄小学校)		千万 智生(美浜中学校1年)
3年生の部	中村 聖哉(美浜南小学校)		石丸 七夕佳(美浜中学校2年)
4年生の部	平岡 優惟(美浜東小学校)		山口 愛加(美浜中学校2年)
5年生の部	飯田 勇人(美浜南小学校)		米澤 綾花(美浜中学校3年)
	河村 陽太(弥美小学校)	一般の部	山東 佑里子(美方高等学校2年)
6年生の部	谷口 優希(美浜北小学校)		板谷 紗代子(敦賀高等学校3年)

第73回国民体育大会美浜町準備委員会 設立発起人会を開催

お問い合わせ先
町生涯学習課スポーツ振興室
(担当:野村) ☎32-6709



第73回国民体育大会美浜町準備委員会 設立発起人(順不同・敬称略)

所属機関・団体・役職名	氏名
美浜町長	山口 治太郎(写真:右から4人目)
美浜町議会 議長	藤本 悟(写真:右から3人目)
わかさ東商工会 美浜地区会長	国川 清(写真:右から2人目)
美浜町観光協会 会長	大谷 正由(写真:右から1人目)
美浜町体育協会 会長	畠中 治男(写真:右から5人目)
美浜町教育委員会 教育委員長	杉木 繁行(写真:右から6人目)

10月28日に、第73回国民体育大会美浜町準備委員会設立発起人会を町役場で開催しました。

本会は、平成30年に開催される国民体育大会の町準備委員会設立にあたり、山口町長をはじめとする発起人6人が、大会の概要を確認し、準備委員会会則案や委員案等を承認したものです。

美浜町では、本大会において、県立久々子湖ボート場でボート競技を開催するほか、総合運動公園野球場で、県内6市町と共同で軟式野球を開催します。

今後は、本会で承認された準備委員会会則案をもとに、12月11日の総会で準備委員会を正式に発足する予定です。

美浜町区長会が視察研修で大野市を訪問

お問い合わせ先
町総務課(担当:瀬戸) ☎32-6700
町企画政策課 原子力対策室
(担当:武田喜孝) ☎32-6701



↑避難施設(大野市有終東小学校)を視察する区長及び町職員

10月25日に、美浜町区長会視察研修で大野市を訪問しました。

今回の視察研修は、昨年8月に改定した町地域防災計画において、県内の原子力発電所で、万が一、事故が発生した場合の広域(30km圏外への)避難先の一つである大野市を訪問し、各集落の避難施設を把握するとともに大野市民との交流を図るために行われたものです。



↑九頭竜紅葉まつりで挨拶する山口町長



↑地元の特産品を求め大勢で賑わう九頭竜紅葉まつり

当日は、各区長・町職員が参加し、九頭竜紅葉まつりを訪問した後、避難施設である大野市有終東小学校や富田公民館等の施設を視察しました。

町では、今後も大野市との交流をより一層深めていきます。

なお、避難施設については、「原子力防災のしおり」をご確認ください。(町ホームページに掲載)

シリーズ「ごみゼロの循環型のまちづくりを目指して！」⑥

資源リサイクルへの取り組み

今月号は、燃えるごみの多くを占めている「紙ごみ」のリサイクルについてです。「紙ごみ」のリサイクルを推進し、燃えるごみの減少にご協力をお願いします。

※お問い合わせ先
町住民環境課 担当・上野
☎32-6703

燃えるごみの半分以上を占める「紙ごみ」

家庭から出た燃えるごみの中身は、エコクル美方で定期的に調査をしています。平成25年度では、焼却処分している燃えるごみの約53パーセントを「紙ごみ」が占めています。つまり、リサイクル可能な紙が燃えるごみとして捨てられ、その分の焼却費用が余分に掛かっていることとなります。



↑リサイクル可能な紙ごみが多く含まれる燃えるごみ

紙ごみのリサイクル

紙ごみは分別することで、多くが回収の対象になります。(内側に蠟が塗ってある紙等は例外です)

紙ごみは正しく分別し、古紙としてごみステーションに出すことで、資源としてリサイクルされ有効活用されるとともに、燃えるごみの大幅な減量にもつながり、環境への負荷も軽減されます。また、焼却にかかる費用もその分抑えることができます。

古紙の出し方を確認し、リサイクルにご協力をお願いします。



↑燃えるごみの減少と環境への負荷軽減につながるごみの分別

古紙の種類と出し方

古紙の種類	出し方
本(雑誌や文庫本等)、新聞広告	20cmから30cmの厚みにして、ひもで十字にしぼって出してください。新聞と広告は混在しても構いません。
ダンボール・厚紙	平たく伸ばしてからひもで十字にしぼる、またはガムテープ(紙製)で側面を閉じて出してください。
紙パック(牛乳パック・酒パック等)	水洗いした後、切り開いて乾かし、ひもまたは輪ゴムで束ねて出してください。
その他紙類(小さな紙切れ・タバコの空箱等)	雑誌等にはさむか、透明なビニール袋やダンボール箱等に入れ、口を閉じて出してください。

※次のものは燃えるごみに出してください
アルバム、写真、ビニールコーティングされた紙、シュレッダーにかけられた紙、紙パックで内側に銀色のアルミが貼られたもの、箱についているビニール類や発泡スチロール、紙パックに付いているプラスチック製の注ぎ口

その他の紙類「雑がみ」も資源

その他の紙類「雑がみ」と呼ばれる小さな紙切れや菓子箱等も、資源になります。燃えるごみとして出さずに、分別してリサイクルしましょう。

※雑がみ…小さな紙切れ、タバコの空箱、菓子箱、名刺、封筒、ハガキ、紙袋、包装紙、カレンダー、折り紙、ラップやトイレペーパー等の芯、紙の付箋

ごみから考える環境問題

私たちの生活は、さまざまな資源の利用によって成り立っており、限りある資源を有効に活用し、リサイクルを図ることが重要です。

町では、次世代に美しい自然環境を引き継いでいくため、今後も地域循環型社会の実現に向けて、町民の皆さんと協働でリサイクルに取り組みやすい環境づくりを推進していきます。皆さんも、身近なごみのことから地域の環境について考えてみてください。

学生の部

美浜町長賞
三番そう足ふみしめて見上げれば
しゃみせんの音にわか葉もおどる
木谷 亮太(美浜北小学校四年)

美浜町議会議長賞
住む街が違う私におかえりと
優しい言葉美浜の夕暮れ
今井 未来(美方高等学校一年)

美浜町教育委員会賞
夏の朝久々子の湖がおれを呼ぶ
今日も全力艇をすべらす
川島 秀夫(美方高等学校三年)

福井県短歌人連盟賞
三方五湖にじの道からみおろして
かわらけなげてねがいをとぼそ
河合 理紗(美浜東小学校三年)

美浜町文化協会賞
一年後ここに私はもう居ない
美浜の景色は心にしまし
村尾 修平(美方高等学校三年)

美浜を詠う実行委員会賞
筆山が静かな湖面に映りこみ
大きな筆が景色を描く
蛭子 海風(美浜北小学校六年)

心に映った美浜の情景…

第9回 美浜を詠う短歌コンクール

11月8日に、第9回美浜を詠う短歌コンクールの表彰式がなびあすで行われました。

今回は、町内外から1,359首の応募があり、次の作品が入賞されました。(敬称略)



大同教育長から表彰を受ける木谷亮太さん(美浜北小)

一般の部

美浜町長賞
久々子湖に沈む夕日のグラデーショ
子に見せたくて帰るふるさと
中川 潔(福井市)

美浜町議会議長賞
吾子ふたり寝かせて今日を閉づ窓辺
五湖を巡りて届く浜風
万谷 和永(美浜町)

美浜町教育委員会賞
美浜町の校歌懐かし「筆山」は
変はらぬ姿湖に映して
西田 和子(美浜町)

福井県短歌人連盟賞
橋の上にずらりと並ぶ蛸壺に
花咲きそろふ日向橋なり
矢部 田鶴子(敦賀市)

美浜町文化協会賞
溪流の里の親子は一本の
竿に真夏の思い出を釣る
丸岡 里美(南越前町)

美浜を詠う実行委員会賞
美浜を詠う実行委員会賞
王の舞を舞い終えし男息はずみ
安堵の思い顔にあらわる
栗野 和美(小浜市)

万が一の原子力災害に備えた「安定ヨウ素剤の配布」について

はじめに

町では、東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ見直された国の原子力災害対策指針等に基づき、昨年8月に町地域防災計画(原子力災害対策計画)を改定しました。

計画では、「原子力災害対策重点区域(※1)」として、対象とする原子力発電所から、概ね5kmを「予防的防護措置を準備する区域(PAZ)」とし、概ね30kmを「緊急時防護措置を準備する区域(UPZ)」と設定しました。

(※1) 原子力災害対策重点区域

原子力防災資機材の整備、避難対策の確立等の原子力災害対策を重点的に実施すべき地域



安定ヨウ素剤の配布方法

町の計画では、福島事故当時、放射性ヨウ素による内部被ばくの防止効果がある安定ヨウ素剤を地域住民に対して速やかに配布できなかった知見を踏まえ、次のとおり配布することとしました。

PAZ 緊急時に備え事前に配布

丹生区
竹波区
菅浜区

医師が効能や副作用等を説明するとともに、アレルギーの有無等を問診する説明会を次の期日で開催し、事前に配布します。対象者には、事前に郵送にて問診票等を送付します。

- ◆丹生区・竹波区(会場:丹生小学校)
12月10日(水)、12月11日(木)
- ◆菅浜区(会場:菅浜農業構造改善センター)
12月12日(金)、12月15日(月)

- ※このほか、12/18(木)美浜原子力PRセンターでも実施します。
- ※いずれの会場も午後6時受付開始です。



↑高浜町で開催された事前配布住民説明会。県外では、鹿児島県や佐賀県、愛媛県でも実施。

UPZ 3地区以外 避難ルート上の公共施設で配布

原子力災害時に避難ルート上の学校等の公共施設において、原則医師が関与し配布します。集落毎の避難ルート及び安定ヨウ素剤の配布場所は現在検討中です。決定次第速やかにお知らせします。

安定ヨウ素剤 Q & A

Q 安定ヨウ素剤とは?

A 放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくを防ぐために、予防的に服用する医療用医薬品(使用期限3年)です。

Q 服用量は?

A 3~12歳は丸薬1丸、13歳以上は2丸です。なお、ヨウ素や成分に対し過敏症の既往歴がある人は服用できません。

Q 服用の時期は?

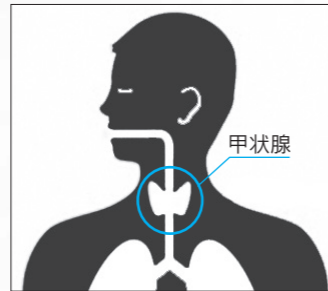
A 国や県または町からの指示に従い服用となります。

Q 服用の効果とは?

A 原子力災害が発生した場合、原子力発電所から放出される主要な放射性物質の一つである放射性ヨウ素による甲状腺の被ばくを抑える効果があります。ただし、この医薬品は、その他の放射性核種に対する被ばくを予防する万能薬ではありません。

Q 副作用とは?

A これまでに一般的な過敏症(発疹等)、消化器系(悪心・嘔吐・胃痛)、その他(頭痛・息切れ等)の症状が報告されています。緊急時に異変が起きた時は、医師の診断が必要です。



↑安定ヨウ素剤



美浜発電所の状況



今回の報告では、10月18日から11月17日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

第25回定期検査中
(平成23年5月14日)

美浜3号機

第27回定期検査中
(平成23年12月18日)

美浜2号機

第25回定期検査中
(平成22年11月24日)

美浜1号機

原子力政策の着実な推進等を
国に要請

10月23日と24日の2日間、原子力発電所が立地する県内4市町の首長及び議長で構成する福井県原子力発電所所在市町協議会(会長・中塚おおい町長)で、経済産業省や内閣府等の関係機関に要請活動を行いました。

【要請事項】

- エネルギー(原子力)政策について
 - 本年4月に策定したエネルギー基本計画を国民に丁寧に説明し、理解促進を図ること。
 - 将来的な電源構成(エネルギーミックス)比率の具体的な数値を示すとともに、原子力プラントの新増設やリプレースについて明確な方針を示すこと。
 - 今後現実の問題となる廃炉について、国の対応方針を明確に示すこと。
 - エネルギー教育推進のための具体的施策を示し、責任を持って主体的に取り組むこと。
 - 安全規制・プラント審査について
 - 規制当局の体制強化を図るとともに、審査手法を見直すこと。また、効率的な審査に努め、立地地域をはじめ国民への説明責任を果たさせること。

- 規制当局が孤立した存在とならぬよう適正な指導・監督を行うこと。
- 規制当局における破綻帯評価は、さまざまな専門家の意見を取り入れさせ、科学的・技術的根拠に基づき慎重に判断させるとともに、立地地域をはじめ国民への説明責任を果たさせること。
- 高経年化プラントの運転延長審査は、その方法を明確にした上で迅速な審査が行える体制を整えること。
- 原子力防災対策について
 - 県境を越える広域避難について、積極的に支援を行うこと。
 - 緊急時モニタリングの結果は住民避難を主体的に実施する対象市町村に対し、迅速かつ確実に情報提供すること。
 - 安定ヨウ素剤の配布及び服用は、配布方法の多様化や簡素化を図り、自治体の負担が軽減できるように十分な支援を行うこと。
 - テロに対して自衛隊が迅速に対応できる法整備や体制の強化を行うこと。
- 立地地域対策について
 - 電源三法交付金は「みなし規定」を継続して適用すること。また、用途を自由裁量とするとともに、事務手続きの簡素化・柔軟化を行うこと。更に、施設の解体撤去完了



↑関芳弘経済産業大臣政務官に要請書を提出

- までを交付対象期間とすること。
- 立地地域の特性を活かした多様な産業の創出に対する財政支援として、電源開発促進税の一部を活用した資金造成を図り、新たな交付金制度を創設すること。
- 新産業の創設や企業誘致等に対する支援制度の充実・強化を図ること。
- 立地自治体の自立的発展基盤確立のため、省庁より必要な人材を派遣する等、実効性のある振興計画の策定に向けた支援体制を確立すること。また、持続的な振興を推進すること。
- 福井県原子力発電所所在市町協議会では、今後も会員間の連携を図りながら、原子力発電に係る課題や問題等に取り組んでいきます。